



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社アルマード 上場取引所 東  
コード番号 4932 URL <https://www.almado.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保科 史朗  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 藤 博雅 TEL 03(4334)1126  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,772	19.2	682	132.8	687	130.0	474	130.7
2023年3月期第3四半期	4,843	17.3	293	△52.8	298	△52.1	205	△52.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	49.53	49.47
2023年3月期第3四半期	21.08	20.98

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,544	1,909	53.9
2023年3月期	3,671	2,332	63.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,909百万円 2023年3月期 2,332百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	19.5	960	15.4	950	13.6	646	10.4	67.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	10,394,000株	2023年3月期	10,394,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,003,459株	2023年3月期	799,642株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	9,587,161株	2023年3月期3Q	9,765,897株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第3四半期累計期間) .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが5類へ移行されたことで、人流や個人消費の回復への動きが強まり、経済社会活動の正常化に期待が高まりました。一方で、長期化する地政学リスクや円安の影響による原材料及びエネルギー価格の上昇、為替相場の変動など、景気の先行きは未だ不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社は3つの経営ビジョンの下(※1)、卵殻膜美容液の更なる認知度向上を狙った新たなテレビCMを放映しましたが、直販(EC)の新規顧客獲得数については、前年同期比で減少しました。しかしながら、前年の定期顧客基盤の拡大及び定期継続率の上昇が奏功し、売上高は前年同期比で増加しました。外販(OEM販売)においても、出荷が前年同期比で好調に推移しました。また、TV通販においても、年末の好調があり、前年同期をクリアしました。販売費及び一般管理費については、顧客獲得時の広告宣伝費が抑制されたことで、売上高の増加率に比して販売費及び一般管理費の増加率は緩やかに推移しました。

その結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高5,772,673千円(前年同期比19.2%増)、営業利益682,421千円(前年同期比132.8%増)、経常利益687,268千円(前年同期比130.0%増)、四半期純利益474,819千円(前年同期比130.7%増)となりました。

※1・先進諸国に到来する高齢化社会において、人々の健康、若さ、そして美しさの維持・向上による“生活の質”の向上という根源的なニーズに、“卵殻膜”を通じて貢献する。

- ・卵殻膜の多機能な効果及び効能を科学的に解明し、常にユニークで最高品質の商品開発にこだわり、それを世界に提供する。
- ・“卵殻膜”で、美容と健康分野において、新しい価値観を浸透させる。

なお、当社は卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の販売チャネル別の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		増減額 (千円)	前年同期比 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)		
TV通販	1,121,597	23.2	1,137,162	19.7	15,564	101.4
外販 (一般流通)	225,469	4.7	296,398	5.1	70,929	131.5
外販 (OEM販売) ※2	949,739	19.6	1,214,306	21.0	264,566	127.9
直販(EC)	2,546,861	52.6	3,124,805	54.1	577,943	122.7
合計	4,843,668	100.0	5,772,673	100.0	929,004	119.2

※2 OEM販売額のうち、インターネット販売を主としているOEM先への売上高

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は3,402,481千円となり、前事業年度末と比較して95,135千円減少しました。これは主に、売掛金が606,050千円増加し、現金及び預金が662,534千円減少したことによるものです。固定資産は141,640千円となり、前事業年度末と比較して31,996千円減少しました。これは主に、繰延税金資産が21,755千円、差入保証金が10,069千円減少したことによるものです。

以上の結果、総資産は3,544,121千円となり、前事業年度末と比較して127,132千円減少しました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は1,592,500千円となり、前事業年度末と比較して291,743千円増加しました。これは主に、短期借入金が450,000千円、未払金が69,718千円増加し、未払法人税等が179,907千円、買掛金が99,243千円減少したことによるものです。固定負債は42,595千円となり、前事業年度末と比較して4,391千円増加しました。これは、退職給付引当金が5,111千円増加し、リース債務が720千円減少したことによるものです。

以上の結果、負債合計は1,635,096千円となり、前事業年度末と比較して296,135千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は1,909,025千円となり、前事業年度末と比較して423,267千円減少しました。これは主に、自己株式が279,121千円増加し、繰越利益剰余金が148,813千円（配当金支払623,633千円、四半期純利益474,819千円）減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年11月14日付「2024年3月期第2四半期決算短信」で公表いたしました業績予想から修正の必要性はないものと判断しております。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,388,343	725,809
受取手形	378,114	-
電子記録債権	181	338,315
売掛金	629,147	1,235,198
商品	861,101	800,826
貯蔵品	212,433	200,583
前払費用	13,784	82,331
その他	14,510	19,417
流動資産合計	3,497,617	3,402,481
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	18,499	17,167
工具、器具及び備品（純額）	35,024	41,807
リース資産（純額）	1,619	1,012
有形固定資産合計	55,142	59,987
無形固定資産		
商標権	1,126	938
ソフトウェア	24,938	20,110
無形固定資産合計	26,064	21,048
投資その他の資産		
繰延税金資産	66,661	44,905
差入保証金	10,069	-
敷金	15,688	15,688
その他	10	10
投資その他の資産合計	92,429	60,604
固定資産合計	173,637	141,640
資産合計	3,671,254	3,544,121

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	308,491	209,247
短期借入金	550,000	1,000,000
リース債務	930	955
未払金	102,536	172,255
未払費用	16,008	30,959
未払法人税等	253,729	73,822
未払消費税等	35,875	61,324
預り金	2,805	6,897
賞与引当金	21,626	14,840
その他	8,752	22,195
流動負債合計	1,300,756	1,592,500
固定負債		
リース債務	964	244
退職給付引当金	37,240	42,351
固定負債合計	38,204	42,595
負債合計	1,338,961	1,635,096
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	110,000	110,000
資本剰余金		
その他資本剰余金	3,560	8,227
資本剰余金合計	3,560	8,227
利益剰余金		
利益準備金	27,500	27,500
その他利益剰余金		
別途積立金	110,000	110,000
繰越利益剰余金	2,907,305	2,758,492
利益剰余金合計	3,044,805	2,895,992
自己株式	△826,072	△1,105,194
株主資本合計	2,332,293	1,909,025
純資産合計	2,332,293	1,909,025
負債純資産合計	3,671,254	3,544,121

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,843,668	5,772,673
売上原価	1,565,470	1,873,058
売上総利益	3,278,197	3,899,614
販売費及び一般管理費	2,985,029	3,217,193
営業利益	293,168	682,421
営業外収益		
受取利息	4	5
助成金収入	2,010	500
雑収入	9,481	9,331
営業外収益合計	11,496	9,837
営業外費用		
支払利息	2,114	2,982
自己株式取得費用	3,564	1,666
為替差損	56	240
雑損失	76	100
営業外費用合計	5,813	4,990
経常利益	298,851	687,268
税引前四半期純利益	298,851	687,268
法人税、住民税及び事業税	67,623	190,693
法人税等調整額	25,378	21,755
法人税等合計	93,002	212,449
四半期純利益	205,849	474,819



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月28日に当社取締役及び従業員に対し、譲渡制限付株式報酬としての自己株式20,208株の処分を実施いたしました。これにより、資本剰余金が4,667千円増加し、自己株式が20,875千円減少しております。また、2023年11月14日開催の取締役会決議に基づき、2023年11月15日から2023年12月26日の期間において自己株式222,300株を取得しました。これにより、自己株式が299,997千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本剰余金が8,227千円、自己株式が1,105,194千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社は、卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社は、卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

現下の業績動向と内部留保の充実度を鑑み、資本効率の向上を図るため。

(2) 自己株式の取得に関する取締役会の決議内容

①取得する株式の種類

普通株式

②取得する株式の総数

250,000株(上限)

③株式の取得価額の総額

300,000千円(上限)

④取得の期間

2024年2月15日～2024年3月29日

⑤取得の方法

東京証券取引所における市場買付